

「エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務」公募要領

2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という。）の開催に向け、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下、「協会」という。）では、万博会場内施設利用者の環境意識を高め、省エネ活動を促すことを目的に、パビリオンおよび博覧会協会利用施設といった主な万博会場内施設の電力・冷水・ガス使用状況を集計、分析し、各施設の使用者へ提示する「エネルギーの見える化」を行う事業者を企画提案公募により募集する。

1 業務名

エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務

(1) 業務の趣旨・目的

万博会場内各施設のエネルギー使用量データを可視化することにより、各施設使用者の省エネ意識向上を狙う。可視化にあたっては、出展規模や来場者数等を勘案したうえで、相対的にエネルギーをかけずに効率的に演出ができていない施設使用者が評価されるような仕組み作りを目指す。また、できる限りエネルギー使用量および分析データの更新頻度を細かくすることにより、消し忘れなどの意図しないエネルギー消費の早期発見や、使用当時の状況（施設運営状況、気象状況など）の把握を容易にする。

(2) 業務概要

「仕様書」（別添3）のとおり

(3) 委託上限額

金120,060千円（税込）

2 スケジュール

2024年5月9日（木）	公募開始・質問受付開始・提案書類受付開始
2024年5月17日（金）	質問締切
2024年5月24日（金）	質問回答
2024年6月7日（金）	提案書類提出締切
2024年6月中旬ごろ	選定委員会
2024年7月上旬ごろ	契約締結
2024年7月中旬ごろ	委託業務開始
2026年3月31日（火）	業務終了（報告書提出）

3 公募参加資格

次に掲げる要件をすべて満たす者又は複数の者による共同企業体（以下「共同企業体」という。）であること。

なお、共同企業体で参加する者にあつては、構成員全員が該当すること。（※（5）は共同企業体として有していればよい。）また、各構成員は2以上の共同企業体の構成員となることはできない。

(1) 次の①から③までのいずれにも該当しない者であること。

- ① 当該公募に係る契約を締結する能力を有しない者
 - ② 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者
- (2) 主たる事務所の所在地の都道府県における最近1事業年度の都道府県税に係る徴収金を完納していること。
 - (3) 消費税及び地方消費税を完納していること。
 - (4) 経済産業省又は大阪府若しくは大阪市から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている者でないこと。
 - (5) 受注事業者及びプロジェクト管理者がエネルギー見える化システム導入・運用・保守業務と同等以上内容および規模の経験を有すること。
 - (6) 共同企業体に係る事項
 - ① 業務形態
構成員の分担業務は協定書において明確にし、一の分担業務を複数の企業が共同して実施することがないようにすること。
 - ② 代表者要件
代表者は指名を受けた企業とし、協定書においても、その旨を明らかに規定すること。

4 応募に係る事項

- (1) 公募要領及び仕様書の配布
 - ① 配布期間
2024年5月9日（木）から2024年6月7日（金）17時まで
 - ② 配布場所、配布方法
本業務に参加を希望するものは最初に（様式1）仕様書等提供申込書 兼 守秘義務誓約書を提出すること。仕様書等提供申込書 兼 守秘義務誓約書を提出したものに限り、詳細仕様書等を開示する。提出先は電子メール（datsutanso@expo2025.or.jp）で受付ける。
 - ③ 配布物
 - ・ 公募要領（本紙）

以下は（様式1）仕様書等提供申込書 兼 守秘義務誓約書を提出したものの開示物

 - ・ 企画提案書作成要領（別添1）
 - ・ 契約書一式（別添2）
 - ・ 仕様書（別添3）
 - ・ セキュリティ要件一覧表（別添4）
 - ・ データ利活用ガイドライン（別添5）
 - ・ 参加表明書（様式2）
 - ・ 参加資格保持誓約書（様式3）
 - ・ 応募金額提案書（様式4）
 - ・ 事業実績申告書（様式5）
 - ・ 共同事業体届出書（様式6）
 - ・ 共同事業体協定書（様式7）
 - ・ 使用印鑑届（様式8）

- ・ 持続可能性の確保に向けた取組状況について（チェックシート）（様式 9）
- ・ 持続可能性の確保に向けた誓約書（様式 10）
- ・ 暴力団排除条例に基づく誓約書（様式 11）
- ・ 質問票（様式 12）
- ・ 委任状（様式 13）

(2) 質問の受付及び回答

① 受付期間

2024 年 5 月 9 日（木）から 2024 年 5 月 17 日（金）17 時まで

② 提出方法

電子メール（アドレス：datsutanso@expo2025.or.jp）で受付ける。

※「件名」に「【質問】エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務」と明記し、質問内容を「質問票」（様式 12）に記載してファイル添付すること。

※協会への質問送信後、電話でのメール到達確認は不要とする。

※質問内容に応募者名を特定できる内容を記載してはならない。

※質問内容に応募者名を特定できる内容の記載がある場合、当該質問に対する回答は行わない。

※①受付期間以外に提出された質問に対する回答は行わない。

※口頭、持参、電話、FAX による問い合わせには応じない。

③ 質問の回答

質問への回答は、2024 年 5 月 24 日（金）に、協会ホームページ【エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務】に掲載する。

(<https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/>)

(3) 応募書類の受付

① 受付期間

2024 年 5 月 9 日（木）から 2024 年 6 月 7 日（金）17 時まで

② 提出方法

下記の宛先へ郵送により提出すること。（持参による提出は不可）

※2024 年 6 月 7 日（金）までの消印があるものを有効とする。

宛先：公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 企画局持続可能性部脱炭素課
（担当：小寺、阪本）

〒559-0034 大阪市住之江区南港北 1 丁目 14-16 大阪府咲洲庁舎 43 階

また、提出の際は、郵送と合わせて必ず受付期間中に電子メールで応募書類すべてのデータを送信すること。（送信先：datsutanso@expo2025.or.jp）

※メール送信量が 10MB を超える場合は添付ファイルを分割して送信すること。

なお、電子メール送信後、必ず下記あてに電話を掛け着信の確認を行うこと。

（電話番号：06-6625-8718）

※土曜日及び日曜日を除く 10 時から 17 時まで（12 時から 13 時を除く）

③ 費用の負担

応募に要する経費は、すべて事業者の負担とする。

(4) 下記の書類について、それぞれ指定する必要部数を提出すること。なお、副本からは事業者名、社章等事業者を特定できる内容の記入を削除すること。

(企画提案に係る書類は、「企画提案書作成要領(別添1)」に留意して作成すること。)

【応募時に必要な書類】

① 企画提案書

ア. 企画提案書(A4用紙、様式自由: 原本1部、副本5部、副本の電磁媒体)

イ. 全体概要(A4又はA3用紙1ページ、様式自由: 原本1部、副本5部、副本の電磁媒体)

ウ. 工程表(A3用紙1ページ、様式自由: 原本1部、副本5部、副本の電磁媒体)

エ. 応募金額提案書(様式4: 原本1部、副本10部、副本の電磁媒体)

② 事業実績申告書(様式5: 原本1部、副本5部)

※公募参加資格(5)の履行実績を詳細に記載すること

③ 共同企業体で応募の場合

ア. 共同企業体届出書(様式6: 原本1部)

イ. 共同企業体協定書(写し)(様式7: 原本1部)

④ 持続可能性の確保に向けた取組状況について(チェックシート)(様式9: 原本1部)

(5) 応募書類の返却

応募書類は理由の如何を問わず、返却しない。

なお、協会は、応募書類を本件に係る事業者選定の審査目的のみに使用し、他の目的には使用しない。

(6) 応募書類の不備

応募書類に不備があった場合には、審査の対象とならないことがある。

(7) その他

① 応募は1応募者1提案とする(共同企業体構成員として参加する場合を含む)。

② 応募書類の提出に際しては、原本、副本それぞれ1セットずつA4ファイルに綴って提出すること。応募書類は電子媒体(CD-R、DVD-R等)に格納したPDFファイル(企画提案書は副本のみ)でも提出すること。

③ 表紙及び背表紙には提案事業タイトルと提案団体名を記入すること。

<記入例>「エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務」提案書
株式会社〇〇(法人名)

④ 書類提出後の差し替えは認めない(協会が補正等を求める場合を除く)。

⑤ 応募書類に虚偽の記載をした事業者は本公募への参加資格を失うものとする。

5 説明会

実施しない。

6 審査の方法

(1) 審査方法

① (2)の審査基準に基づき、選定委員会による審査を行い、最優秀提案事業者を決定する。

ただし、最高点が複数いる場合は、提案金額の安価な者を最優秀提案事業者とする。

② 審査は、書類審査により行う(プレゼンテーション審査は行わない)。

- ③ 最優秀提案事業者の評価点が、審査の結果、100 点満点中 60 点以下の場合は採択しない。
なお、審査内容に係る質問や異議は一切受け付けない。
- ④ 最優秀提案事業者は特別の理由がないかぎり、契約交渉の相手方に決定する。

(2) 審査基準

審査項目	審査内容	配点
体制、実績、趣旨理解	提案事業者がエネルギーの見える化システムにおける同種業務について導入・運用・保守業務の実績があるか。 プロジェクト責任者、実施者の経験が十分であるか。 本公募の趣旨を理解しているか。	30 点
提案内容・充実度	利用者・運用者いずれも利用しやすいものとなっているか。 利用者に省エネ活動を促す提案となっているか。 エネルギー分析レポートは充実したものとなっているか。 相対評価については、公平性・透明性の高いものとなっているか。	40 点
価格点	価格点の算定式 満点（30 点）× 提案価格のうち最低価格／自社の提案価格	30 点
合計		100 点

(3) 審査結果

- ① 契約候補者が決定した後、審査結果は採択に関わらず、全提案事業者に通知する。
- ② 選定過程の透明性を確保する観点から、以下の項目を協会ホームページ【エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務】において公表する。
[\(https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/\)](https://www.expo2025.or.jp/association/agreement/)
 - ア. 最優秀提案事業者（名称・評価点・提案金額）
 - イ. 全提案事業者の名称 ※50 音順
 - ウ. 全提案事業者の評価点 ※得点順（提案事業者が 2 者であった場合、次点者の得点は公表しない。）
 - エ. 最優秀提案事業者の選定理由 ※講評ポイント
 - オ. 選定委員会委員の氏名及び選任理由

(4) 審査対象からの除外（失格事由）

次のいずれかに該当した場合は、審査の対象から除外する。

- ① 選定委員会委員に対して、直接、間接を問わず、故意に接触を求めること。
- ② 他の提案事業者と応募した提案の内容又はその意思について相談を行うこと。
- ③ 選定終了までの間に、他の提案事業者に対して応募書類の内容を意図的に開示すること。
- ④ 応募書類に虚偽の記載を行うこと。

- ⑤ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行うこと。
- (5) 契約交渉時の資格審査必要書類の提出
- 契約候補者は、選定委員会による審査後、以下資格審査に必要な書類について、それぞれ指定する必要部数を提出すること。

【選定委員会による審査後、資格審査に必要な書類（契約候補者のみ提出）】

- ① 定款又は寄付行為の写し（1部）（原本証明すること。）
- ② 法人登記簿謄本（1部）（発行日から3カ月以内のもの）
- ③ 納税証明書（各1部）（未納がないことの証明：発行日から3カ月以内のもの）
 - ア. 本店を管轄する都道府県税事務所が発行する都道府県税（全税目）の納税証明書
 - イ. 税務署が発行する消費税及び地方消費税の納税証明書
- ④ 財務諸表の写し（1部：最近1カ年のもの、半期決算の場合は2期分）
 - ア. 貸借対照表
 - イ. 損益計算書
 - ウ. 株主資本等変動計算書
- ⑤ 使用印鑑届（様式8：原本1部）
- ⑥ 印鑑証明書（原本1部）
- ⑦ 持続可能性の確保に向けた誓約書（様式10：原本1部）
- ⑧ 暴力団排除条例に基づく誓約書（様式11：原本1部）

※なお、契約候補者が資格審査に必要な書類を提出する場合、協会の連絡を受けてから2営業日後の17時まで提出をすること。

7 契約手続きについて

契約交渉の相手方に選定された者と協会との間で、契約を締結する。（別添2）

- (1) 協会は、受発注者双方のコスト削減及び効率化の観点から、電子契約サービス「CECTRUST-Lightサービス」による電子契約を推進している。手続き方法の詳細については、契約候補者に対し、協会から案内する。
- (2) 採択された提案については、採択後に協会と詳細を協議する。その際、内容・金額について変更が生じる場合がある。
- (3) 契約金額の支払いについては、受託事業者から提出された業務完了報告について、協会が検査を実施し、その検査に合格することを条件とする。
- (4) 契約締結に際して、大阪府暴力団排除条例第11条第2項に規定する暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を提出すること。誓約書を提出しないときは、協会は契約を締結しない。
- (5) 契約締結に際して、持続可能性の確保に向けた誓約書（様式10）を提出すること。
- (6) 契約候補者として決定した日から契約締結の日までの間に、参加除外要件に該当するときは、契約を締結しない。
- (7) 契約候補者として決定した日から契約締結の日までの間に、公募参加資格に掲げる要件を満たさなくなったとき、また、協会が契約候補者としてふさわしくないと判断したときは、契約を締結しないことがある。
- (8) 契約候補者は、契約の締結と同時に、契約金額の100分の5以上の額の契約保証金を納付しな

- なければならない。(現金に代えて納付される証券を含む。)
- (9) (8)の規定にかかわらず、次のいずれかに該当するときは、契約保証金の全部又は一部を免除することがある。
- ① 契約候補者が保険会社との間に協会を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
 - ② 契約候補者から委託を受けた保険会社、銀行、その他予算決算及び会計令(昭和二十二年四月三十日勅令第百六十五号)第百条の三第二号の規定に基づき、財務大臣の指定する金融機関と工事履行保証契約を締結したとき。
 - ③ 契約候補者が、過去2年の間に協会、国又は地方公共団体等と種類及び規模をほぼ同じくする契約を2回以上締結し、これらを誠実に履行し、かつ、契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - ④ 契約金額の年額又は総額が150万円以下であり、かつ契約候補者が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - ⑤ 国、地方公共団体、その他の公共的団体と契約を締結する場合において、契約候補者が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - ⑥ 電気、ガス、水道、郵便、電話、公共放送の受信等公益事業に係る契約又は主務大臣が認可した契約約款に基づく保険、運送等の契約を締結しようとするとき。
 - ⑦ 調査、研究、計算、鑑定、評価、訴訟、点検等を委託する場合で、契約候補者が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
 - ⑧ 物品等を購入又は賃貸借する場合で、契約候補者が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。

8 持続可能性の確保

- (1) 契約候補者は、法令の遵守、環境・人権・労働・公正な事業慣行や地域経済への配慮など幅広い持続可能性の確保に向けた取組みを推進するとともに、広く社会に持続可能性を重視する姿勢が定着するよう働きかけるものとする。
- (2) 契約候補者は、本契約の履行に際し、協会が別途定める「持続可能性に配慮した調達コード」(以下「調達コード」という。)の内容の理解に努め、これを遵守しなければならない。
(https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025or.jp_2022/assets/pdf/sustainability/202307_sus_code.pdf)
- (3) 契約候補者は、協会がサプライチェーンに対する調査・働きかけを含む調達コードの遵守に向けた取組状況について報告を求めるときは、開示・説明に努めるものとする。
- (4) 契約候補者は、協会が調達コードの遵守状況について協会による確認・モニタリング又は協会の指定する第三者による調査の受入れを求めるときは、これに協力するものとする。ただし、契約候補者が協力に支障のあることについて正当な理由を有するときは、この限りではない。
- (5) 協会が契約候補者による調達コードの不遵守を理由に改善措置を求めるときは、契約候補者は、改善に取り組み、その結果を協会に報告しなければならない。

9 その他

- ・提案の応募にあたっては、本公募要領、仕様書等を熟読し遵守すること。
- ・私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和二十二年法律第五十四号。以下「独占禁止法」という。）及び刑法（明治四十年法律第四十五号）等を遵守すること。
- ・本公募に係る応募提案手続きについて協会と参加者との間で用いる言語は、日本語とする。
- ・情報システムを構築、運用する場合は情報セキュリティの確保に留意すること。